

医療安全情報 レポート

Vol. 8

職員一丸となって「患者確認はフルネームで！」に取り組んでいますか？

今回は基本的な医療安全である「患者誤認」について考えてみたいと思います。

公益財団法人日本医療機能評価機構の報告より、過去6年間の患者間違いに関する「ヒヤリ、ハット」報告事例700件のうち、薬剤・輸血に関する事例が94%を占めています。どんなに有効な医療でも、万一、誤った人に行なわれてしまえば、重大な損害をもたらしたり、信頼が損なわれることもあります。

患者誤認は「医療事故の中で、言い逃れができない過失が問われる」一つとされています。



【名前確認はすべての基本です！】

食事を提供する施設では 誤配膳 も危険です。

食事形態の違いによる誤嚥や食物アレルギーによるアナフィラキシーショック等の危険性が考えられます。

皆さんの施設では確認をどのように行なっていますか？

ポイント

「患者さんを間違わないためにお名前を確認させてください」等理由を示す言葉を使いましょう。

「患者と医療者の共同によるフルネーム確認」

それぞれの施設でネームバンドや診察券を活用し、認証や照合確認を行なっていると思います。

医療安全全国共同行動の行動目標8の患者・市民の医療参加では『患者と医療者の協同によるフルネーム確認』が有効とされていますので、参考にして患者確認方法について考えてみましょう。

「安全確認のために
お名前をお願いします」

